

岩城 晶巳 議員（代表質問）

1 観光遊覧船キラリンについて

- ・ 8年ぶりの2隻体制であり、いろいろと反省点などがあったと思うが、それらを踏まえて。
 - ア 外国人の方が増えたとのことであるが、看板表示も外国語が必要なのは。
 - イ 平日の乗船率は良くないと聞くが、価格を下げるなど特典を考えればどうか。
 - ウ キラリンのスクリューがロープに絡まる事故があったが、これからは大丈夫か。
 - エ ウェーブ滑川が主体で運航しているが、観光協会、観光課の関わりはどうなっているのか。
 - オ 富山湾岸クルージングとはいえ、他市へは行けない。いつ頃から実施できるのか。

2 養鶏場建設問題について

- ・ 8年前に構想が発表されて以来、滑川市全体での粘り強い反対運動が実を結ぼうとしている。
 - ア 昨年12月定例会の質問のあと、情報収集されたのか。
 - イ 農地転用の許可の取り下げや、建設計画撤回などの確認を取れているか。
 - ウ 通知から1年後であるこの6月30日をもって、晴れて諦めたということになるのか。

3 有害鳥獣対策について

- ・ 県の自民党政調会で一番質問が多かった問題であり、議会報告会でも質問があった。
 - ア 有害鳥獣対策のことしに入っている状況は。
 - イ 鳥獣被害対策実施隊員の確保と育成はどのようになっているのか。
 - ウ 県、近隣市町村との連携などはなされているのか。
 - エ 総合的な管理体制や実施隊、地域住民の協力体制の強化を図るべきではないか。

4 部活動指導員について

- ・ 今定例会の補正で、2名の部活動指導員採用の予算が計上されている。
 - ア 担当種目はなにか。
 - イ この指導員の方々は誰が願うのか。
 - ウ 定年後の皆さんのよい活動になるが、待遇などはどうなるのか。
 - エ 市としては要望があれば増員していくのか。
 - オ 賃金は全国的にもこの程度なのか。

5 学校周辺の整備について

- (1) 東部小学校と西部小学校の駐車場整備の予算が提出されたが、今年度は用地買収と盛り土までで、来年度完成予定か。
- (2) 平成24年8月に、県からの要請で「通学路の安全点検」をせよとのことで、24カ所の指摘があったが、危険箇所は改修されているのか。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 今回の補正予算について

- (1) 3月当初予算は「準骨格予算」とされ、「主要な新規事業は今後の補正予算で具現化する」とされていた。今回の補正予算では何が該当するのか。
- (2) 今後に具現化しようと念頭にあるものは何か。

2 国民健康保険について

- ・ 県資料によれば、滑川市の国保税は、28年度では県下市町村平均を上回って7番目。今年度から制度が変わるが、引き下げの努力を求める。
 - ア 1人当たりの診療費は県下で最も高い一方で、受診率は低い(10位)。昨年も指摘したが、各種健診を含め早期受診をさらに強調すべきではないか。
 - イ 国保税が県下平均よりも高いとの認識はあるか。
 - ウ 他の医療保険（例えば協会けんぽ）と比べてどうか。
 - エ 子育て世帯の均等割見直しを検討されたい。国保にあるような均等割は他の医療保険にはない。

3 生活保護の見直しに関連して

- (1) 現在の受給者への影響について
- (2) 他の制度への影響について
- (3) 就学援助の基準は現状維持か。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 東福寺野自然公園の利活用について

- (1) 東福寺野自然公園研修センター「青雲閣」の空調機器取替工事（緊急修繕）の実施について
 - ア 緊急修繕工事の概要並びに経緯についての説明
 - イ 緊急修繕工事は、いつ発注し着工され、いつ完成し運用されるのか。
 - ウ 緊急修繕工事について、利用者への周知、並びに利用者への対応について

- (2) 東福寺野自然公園研修センター「青雲閣」の管理運営方針の決定について
 - ア 運営方針検討の組織並びにメンバーについて
 - イ 平成30年度と期間を定めているが、いつ頃までに決定できるのか。
 - ウ これまでの検討の途中経過並びに検討内容について
 - エ 利用者、利用関係団体・組織、地元住民、等々意見聴取の機会について

2 有害鳥獣被害防止対策について

- (1) サル、イノシシ等の被害状況並びに捕獲状況について

- (2) 有害鳥獣被害の現状を踏まえて、被害防止対策の施策について
 - ア 行政が主体となった侵入防止柵の設置計画の作成並びに実施について
 - イ 捕獲体制の充実と鳥獣被害対策実施隊並びに地域との連携について
 - ウ 更なる資格取得者の拡大と確保について
 - エ 解体処理施設の設置について

3 国営施設応急対策事業について

- (1) 国営施設応急対策事業「早月川地区」に伴う農振除外について

- ・ 平成31年度重点事業に関する要望のうち、「農業用排水路の変更であって、施設の従前の機能維持を目的とする事業の土地改良事業等からの除外について」、そのなかで土地改良事業等から除外されるよう、要件の緩和についての要望であるが、その具体的な要件について
- (2) 中山間地域における人口減少対策に対応する、移住・定住促進策としての住環境整備への影響について
- (3) 農振法施行規則第4条の5第1項第27号の「地域の農業の振興に関する地方公共団体の計画」の策定について
- (4) 農村地域への産業の導入の促進等に関する法律第5条第1項の「実施計画」の策定について

4 立山黒部ジオパークの活動について

- (1) 立山黒部ジオパークの滑川市版副読本の印刷部数並びに配布箇所について
- (2) 小中学校での副読本の活用について
- (3) 今後、継続的な増刷、配布、並びに活用について
- (4) 立山黒部ジオパークの対応に関する、担当所管はどこか。担当者はいるのか。
- (5) 立山黒部ジオパークの活動に関し、観光との連携、啓蒙・啓発、PRについて

大門 良輔 議員（一般質問）

1 ほたるいか海上観光について

(1) 2隻体制の検証

- ア 今シーズン1,478人の方がほたるいか海上観光に乗船したが、乗船率はどうだったのか。
- イ この数字は例年と比べてどうだったのか。
- ウ 1隻しか出航しなかった日はどれだけあったのか。
- エ 乗船率を上げるためにはどうしていくのか。
- オ 今年は2隻体制となり、例年より多くの方が富山湾の神秘を見に滑川市に訪れたわけだが、宿泊者数の割合はどうだったのか。
- カ より滑川市に宿泊し、お金を落としてもらおう仕組みをどのように作っていくのか。
- キ 今シーズンのメディアによる経済効果の金額はどれほどか。

(2) 満足度を上げるには

- ア ほたるいか海上観光の船内アナウンスについて担当する方によって違いが大きいが、担当者はどのように決めているのか。
- イ 船内アナウンスの育成はどのように行っているのか。
- ウ 船内アナウンスができる専門のガイドを設置することはできないか。
- エ 乗船前に、ほたるいか漁の仕組みや流れが分かる日本語版と英語版のパンフレットを配布できないか。
- オ ほたるいか海上観光に乗船する前に、別料金でほたるいかミュージアム内にてホタルイカ漁の講座を開き、より理解を深め、ほたるいか海上観光を楽しんでもらうツアーはできないか。

(3) 外国人観光客について

- ア 今シーズン、ほたるいか海上観光に外国人観光客が103人乗船し、例年より多くの外国人観光客が滑川に訪れたと聞いているが、なぜ外国人観光客が増加したと考えているか。
- イ 外国人観光客の満足度を上げるために、平日の中で外国人観光客の日を設け、2隻のうち1隻を外国人専用の船にし、受け入れ態勢を整える事はできないか。
- ウ 直接アジアなど海外へ出向き営業をかけることで、滑川に来てもらうよう働きかけはできないか。また、県と連携をして海外向けのPRの強化はできないか。

2 海洋資源について

(1) 高志の紅ガニについて

- ア 今年度、高志の紅ガニが富山県推奨とやまブランドに仲間入りをした。そのことを受け、2017年ベニズワイガニ県内3位の漁獲量を誇る滑川の特色を生かしたブランドを確立させ、ホタルイカとベニズワイガニの二大ブランドとしてさらに押し進める事はできないか。
- イ 今後、カニ祭りの開催やもしくはグルメの森をカニ祭りに名前をかえ、滑川にもカニがあることを大々的にPRできないか。

(2) プロトンについて

- ア 今年度のプロトンホタルイカの冷凍量と価格帯は。
- イ 販売した先の評価やリピートはどうか。
- ウ 滑川ブランドとして市が認定証を発行し、安心かつ高級なプロトンホタルイカとしてブランド力を高め、販売できないか。

(3) ほたるいかミュージアムへの見学について

- ア 授業の一環で、小学校が申し込めばほたるいかミュージアムを無料で来館できると聞いているが、その実績は。
- イ 予算化をして6年間のうち1回はほたるいかミュージアムに足を運び、光るホタルイカを見て地元愛を育む教育はできないか。

3 都市計画について

(1) 空き家について

- ア 滑川市における空き家の件数は750件以上あると聞いているが、この空き家問題をどのように進めていくのか、考えをお聞かせ願いたい。
- イ 今後、空き家の数がさらに増えると予想されるが、空き家予備軍を空き家にしない予防策が大事となる。その対策はどのように考えているのか。
- ウ 二世帯、三世帯同居の補助を進めることはできないか。
- エ 瀬羽町の空き家を利用した店舗がここ数年で増えてきている。この流れを加速させるために、滑川のモデル地区として後押しできないか。

(2) 中滑川駅の跡地について

- ・ 中滑川駅周辺の跡地について、今年度基本構想をまとめる予定だが、完成はいつを目標に進めるのか。

高橋 久光 議員（一般質問）

1 市営住宅の入居状況について

- (1) 我が市の市営住宅全体の入居状況は。
- (2) 旧雇用促進住宅（上小泉、吾妻、北野）の入居状況は。
- (3) 市内の大手企業や地元企業が増えて人口1人あたりの工業製品出荷額も県下一となっている状況の中、市内の住宅状況との相乗効果はどうか。
- (4) 市内の民間住宅との相互性はどのように考えるか。

2 市有土地（空地）の有効利用について

- (1) 中滑川駅前空地について、中滑川駅周辺整備検討特別委員会で調査検討はしているものの、当局としての思い、考えを改めて伺う。
- (2) 滑川駅前の旧駅前住宅跡地はどのようにする思いか伺う。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 滑川市駅前住宅跡地について

- (1) これまでも集合住宅や宿泊施設等の可能性や民間事業者への売却、賃貸等、分譲マンションの建設も有効活用の一つだと示されていた。現在までの経過状況、見解を問う。
 - ア 公共施設建設は選択肢になく、あくまで宿泊施設、集合住宅等も含め民間事業者への売却、賃貸等での検討過程か。
 - イ 賃貸での活用とはどのようなケースになるのか。
 - ウ 平成29年6月定例会にて、外部より土地活用の提案として宿泊施設1件、集合住宅1件、高齢者施設1件の提案があったと報告されたが、新たな問い合わせはあったのか。
 - エ 本年3月定例会では周辺民有地の土地利用を注視し、今後進めるとのことであったが、民有地を含めた構想があるのか。
- (2) 都市計画マスタープランの将来都市構造の中でも住環境創出拠点と位置付けされている地域である。住環境創出に向けた住宅開発は効果的だと考えるがどうか。

2 東福寺野自然公園研修センターについて

- (1) 公共施設等総合管理計画に基づく勘案経過を問う。
 - ア 利用状況を踏まえて運営評価はどうか。
 - イ 収益、管理費を踏まえて経営評価はどうか。
 - ウ 仮に耐震補強を行った場合の工事費、また施設建てかえとなった場合の建設費の見込みはどうか。
 - エ 整備当初とは社会構造、市民ニーズは確実に変化しているが、利用需要は今後も見込まれ、持続可能だと考えているか。
- (2) 計画にある「施設総量の適正化」では新たな施設整備が発生した際は、既存施設の有効利用や、民間からの賃貸借による対応など、新たな施設建設を伴わない方法について検討をするとあるが、これに該当しないのか。
- (3) 国においても「経済財政運営と改革の基本方針」が閣議決定され、「新しく造ること」から「賢く使うこと」に重点課題とされているが、地域

資源である豊かな自然を活かした、キャンプ場建設や蓑輪周辺施設との統合化を検討できないか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 消雪装置の点検について

- (1) 昨シーズンの降雪時に瀬羽町近辺の消雪装置が井戸の崩壊によって動かせなかったが、それを把握したのはいつ頃だったのか。
- (2) 作動の点検はどのくらいの時期に行い、その時に発見できなかったのか。
- (3) 他の消雪装置の井戸は大丈夫なのか。

2 コミュニティバスについて

- (1) 以前小型バスの導入を、更新の時に検討すると聞いたと思う。今回の補正予算の中に、老朽化したバスの更新があるが、小型バスの検討はどうなっているか。
- (2) 滑川市地域公共交通網形成計画では、デマンド交通やハブバス停等の運行形態の検討について、2020年度まで調査研究を行ってからの検討となっているが、もう少し急いだほうが良いのではないかと。現在の研究・検討状況はどうか。
- (3) アンケートによる市民からの意見を反映した改善は検討されているか。目的地を定めたバス、文字の拡大等見やすくした時刻表など、特にシニア世代の足となるような取り組みはどうか。
- (4) バスの運転手に負担はかかってないか。運行体制を見直す際に増員ということも検討しているのか。
- (5) 市民の中には今でも高岡市を引き合いに出して、コミュニティバスが続くか不安に思っている方も多く。そうした不安の声をなくすためにも少しでも早い改善を求めるがどうか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 子ども安全政策について

- (1) 平成28年に通学路点検として、町内会、PTA、警察、学校などにより子ども達を守るために危険箇所の洗い出しが行われたと聞いている。中学校区も確認したのか。
- (2) 中学校の自転車通学の生徒に、通学路の設定はしているのか。
- (3) 近年小学生の通学時被害が後を絶たない。各地区で取り組まれている、通学児童見守りの皆さんの意見や希望を具体的に聞いているか。
不審者情報が頻繁に入っている。情報の共有のためにも、滑川市が全面的に支援し連絡協議会をつくってほしい。新しく人を採用し、「子どもを守る課」の意識で取り組んでもらいたい。
- (4) 現在、各学校で帰宅時間や、行事連絡など見守りの方々は必要な情報をどのように入手しているのか。
- (5) 見守りの方々の活動はどこかの管轄か。（福祉介護課・教育委員会？）
- (6) 新潟の事件のあと、教育委員会や学校などから改めて子ども達を頼むと伝えてほしいが、誰から頼むのが良いと考えているか。
- (7) 子どもの下校時の空白時間を無くすため、今できることを考えるのは市役所であってほしいが、いかがか。
- (8) 富山県内でも子ども第一主義を提唱している滑川市は見守り活動も徹底していると行政的に言えるのか。「十分支援している」程度ではないか。見守りを徹底している滑川。「安全・安心のまち 子どもを育てるのは滑川市で」を掲げる。大きなソフト事業ではないか。

2 ねんりんピックについて

- (1) マラソンの競技と聞いているが参加選手は何人か。
- (2) 5km、10kmと聞いていたが他に特別メニューはあるか。

- (3) 全国から滑川に来られるので、おもてなしの準備はどうか。市民の協力が必要ではないか。
- (4) 雨の場合の準備はしてあるか、どのようになるのか。

3 ふるさと納税と寄付金について

- (1) 総務省の通達で滑川は何か改善したか。特産品でもあり、あまり消極的にならなくてもいいのではないか。
- (2) その後の実績はどうか。
- (3) ふるさと納税ではなく、純粋な寄付金の過去10年間の実績はどうか。
- (4) ふるさと納税を目的税に考えられないか。
(ほたるいかミュージアムの大規模改修等)

青山 幸生 議員（一般質問）

1 観光の改革について

- (1) 株式会社ウェーブ滑川のここ10年間の委託事業費と施設整備充実費の累計額はいくらか。
- (2) タラソピアのここ10年間の委託事業費の累計額はいくらか。
- (3) 観光の抜本的赤字体質からの脱却に向けて、コンセプトからお客様へのアプローチまでを考えたか。
- (4) 観光課は、ほたるいか海上観光課ではないのか。
- (5) 外部コンサルタントは雇わないのか。

2 発達障がいについて

- (1) 放課後児童クラブは発達障がい児も利用可能か。
- (2) 夏休み中、発達障がい児を、預けられる場所はあるか。近隣の市町村の状況はどうか。
- (3) 滑川市のヘルプマークの取り組みはどうか。
- (4) 就労継続支援A型・B型各事業所との連携はとれているか。

3 駐車場について

- (1) 西部小学校と東部小学校の用地購入について、今後のスケジュールはどのようになるか。
- (2) 行田公園の駐車場及び芝生広場等整備のスケジュールはどのようになるか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 観光振興について

- (1) 今シーズンのほたるいか海上観光における実績の評価と、来年以降の運航、おもてなしについて、どう考えているのか。
- (2) 湾岸クルージングにおいて、乗船料の値下げをし、採算が合うとは思わないが、波及効果をどう考え、観光客を増やす取り組みをしているのか。
- (3) 本年度から㈱ウェーブ滑川が主体となって、海上観光、クルージングを実施しているが、市、漁協、観光協会、委託業者との関係は、良好に進んでいるのか。
- (4) 本年 11 月にねんりんピック富山が開催されるが、本市のPRはどのように行っていくのか。
- (5) ねんりんピックの日程が、キラリングルメの森の開催日と同じであるが、県外からの参加者である選手の皆さんをもてなす準備はあるのか。
- (6) ねんりんピックの滑川市の担当種目はマラソンであるが、当日の大会のお手伝いをしていただく、ボランティアや関係諸団体への協力要請について万全なのか。
- (7) 屋内運動場がオープンし、ますます、スポーツ・健康の森公園周辺が賑やかになったが、投てき場も含め、スポーツ合宿の誘致など利用者を増やす取り組みは。
- (8) 北陸自動車道上り線有磯海サービスエリアの利便性の向上について、市としてどう取り組むのか。

2 高齢者の福祉の向上について

- (1) 東福寺野自然公園条例の改正が今定例会で上程されたが、パークゴルフ協会等、関係団体からの意見聴取や、パークゴルフに限らず市内体育施設の利用料の軽減化について議論されたのか。

- (2) コミュニティバスの利用者が増えたと市長提案理由説明に書かれているが、どう検証したのか。
- (3) バスの更新について予算計上されているが、先日策定したばかりの「滑川市地域公共交通網形成計画」において、バスの更新は来年度となっている。どんな計画だったのか。
- (4) 高齢ドライバーの事故防止についての取り組みは。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 子育て支援について

- (1) 本年9月からは、県が低所得世帯を対象に保育料の軽減を行うこととなっている。本市にとっての財政負担は、どうなるのか。
- (2) 来年10月には、国の保育料無償化が始まる予定であるが、本市独自の子育て支援策は考えているのか。

2 教育について

- ・ イタイイタイ病が国内初の公害病と認定されてから本年5月8日で50周年となった。
小学生を対象に県立イタイイタイ病資料館を見学する課外学習を行ってはどうか。

3 医療費の適正化について

- (1) 糖尿病の重症化予防の取り組みについて
 - ア 市内の糖尿病の患者数と未治療者数について
 - イ 具体的にどのような対象者に受診勧奨や保健指導を行っていくのか。
- (2) 医薬品の多剤・重複投薬の削減や残薬解消について
 - ア 薬局での残薬状況を確認する取り組みについて
 - イ 残薬をなくする広報活動への取り組みについて

4 公共施設管理について

- ・ 本年2月27日付けの総務省からの通達で、公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）の策定が求められている。
 - ア 担当者として、どう受け止めているのか。
 - イ 今後4年間の計画について

5 東福寺野自然公園について

- 東福寺野自然公園の入り口付近に、来園者への歓迎と御礼の看板が設置されているが、来園者からは、わかりにくいという声を聞く。もっとわかりやすく、大きな看板にして、設置場所も見直してはどうか。

中川 勲 議員（一般質問）

1 産業の振興について

- (1) 海洋深層水トマトの生産について
 - ア 「海洋深層水トマト」が富山県から5月に「地域資源」に指定されたとのことで、生産拡大・ブランド化をより推進するとのことであるが、具体的にどう取り組むのか。
 - イ 生産に対する技術指導は誰が責任を持って行うのか。また、プロジェクトチームをつくり全面的に協力すべきと思うが。
 - ウ 販売はどのようにするのか。
- (2) 海洋深層水「塩」の生産について
 - ア 海洋深層水を活用した天日製塩施設が昨年4月に完成し稼働されているが、順調に製塩しているのか。
 - イ この1年間どれくらい製塩して販売はどれくらいか。
 - ウ 今後の課題と対応はあるのか。
- (3) プロトン凍結機・急速冷凍施設について
 - ア 昨年2月28日に完成式が行われ、稼働してから1年3カ月経過したが、いつ頃からどこへ販売し販売量はどれくらいか。
 - イ 販売先とお客さんの評判はどうであったか。
 - ウ 今後どのように取り組むのか。

2 観光・ふるさと龍宮まつりについて

- (1) 北陸新幹線が開業して3年が経過したが、その効果と今後の取り組みは。
- (2) 県内外・首都圏・海外への観光滑川のPRはしているのか。
- (3) ふるさと龍宮まつり・古代神踊り街流しにおいて、中学生の扇子踊りが素晴らしいと聞く。小中学校において、古代神踊りの取り組み状況は。
- (4) 音頭取りの歌う場所や踊り子の隊列についても考えるべきと思うが。
- (5) 滑川市内の企業の参加協力はもらえないのか。

3 職員の働き方改革について

- (1) 組織をつくって働き方改革をしなければならぬとのことであったが、組織はできたか。
- (2) 残業は減少したのか。
- (3) これからの季節イベントなどで休日出勤が多いと思うが、どう対応するのか。
- (4) 職員用出勤退所タイムカードの設置は考えていないのか。

脇坂 章夫 議員（一般質問）

1 タラソピアについて

- (1) タラソピアの位置付けと運営にあたっての考え方、及び現在取り組んでいることを伺う。
- (2) タラソピアの修繕や改修費の予算計上について伺う。
- (3) タラソピアの存続について伺う。

2 防災について

- (1) 市内で土砂災害（土石流、地すべり、がけ崩れ）が約60カ所において予想されると聞いているが、その対策について伺う。
- (2) 東加積、山加積地区（特に大浦、本江、小森）での土砂崩落による災害対策について伺う。
- (3) 市内各地区に配置されているコミュニティ防災資機材倉庫について
 - ア 各地区の管理者（責任者）は2年ほどで交代されているのではと思うが、現実はいかがか。
 - イ 防災資機材倉庫の管理（変形・雨漏り・発錆）、収納資機材の管理（数量・駆動状態・燃料等）は適正に保たれているのか。
 - ウ 各地区の活用頻度と活用内容はどうか。
 - エ 配置されて20年も経過しているが、各地区の要求に合った資機材の補充がなされたか。
 - オ 防災資機材倉庫の実態調査や各地区との意見交換をされたことがあるか。

